

待ちに待った学校生活が始まるね

町内の小学校で一齐に入学式

(4月7日・富宿小学校)

特集 1 / 朝日町行財政改革大綱実施計画「集中改革プラン」

特集 2 / 平成18年度の町づくりと予算・職員人事

町政スポット / 3月定例議会 国民健康保険税と介護保険料の改定 ほか

まちの話題 / 暮らしの得手前楽習祭

中部子ども会競引き大会・西部キッズリーグ大会 ほか

広報

あさひまち

2006年4月号
No. 593



地方分権が実施の段階に入り、地方自治は新しい時代を迎えようとしています。自治体は、自らの責任において社会経済情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できるよう体質強化を図り、住民と協働による活力ある地域社会の構築を図っていくことが求められています。また、国の三位一体の改革により自治体財政の自立が求められ、行財政の構造を改革しなければ、安定的、持続的な運営が不可能となり、将来的には財政破綻に陥る可能性も否定できない状況となっています。

最小の経費で最大の効果を！今後、より簡素でより効率的な行財政システムの構築が求められていることから、その具体的な取り組みをまとめた実施計画「朝日町集中改革プラン（平成17年度～平成21年度の5カ年計画）」がこのたび示されました。今回の特集では、この改革プランの具体的な内容や効果について、詳しくお知らせします。



特集1 朝日町行財政改革大綱実施計画「集中改革プラン」

平成21年度末までの5年間で改革効果額は約6億円 歳出で約5億円の減 歳入で約1億円の増

■人件費の縮減

①職員数の削減

○見直し内容

- ・定員管理計画（第3次朝日町行財政改革大綱による）のとおりに実施されます。
- ・組織の見直し等に伴う配置替え対象者について、早期退職を希望する場合には特別算給が検討されます。

○効果

- ・平成17年度当初で180人だった職員数が、平成22年度当初に164人（5年間で16人の減）となります（表1参照）。

②給与構造の見直し

○見直し内容

- ・平成17年度人事院勧告等を踏まえて、新たな給与体系が平成18年度から導入されます。給料表の水準が平均4・8%引き下げられます。

○効果

- ・平成18年度：1,050万円
- ・平成19年度：2,090万円
- ・平成20年度：3,140万円
- ・平成21年度：4,180万円

③一職一級制度の導入

○見直し内容

- ・主事、係長、課長などの職位毎に給料の等級を定め、給料を等級内で支給する制度が、平成18年度から始まります。

○効果

- ・職務ごとの職務内容・職責を明確にし、よりの確な職務執行が行われます。

④特別職給与の見直し

○見直し内容

- ・平成18年度も引き続き、現行（町長10・3%の減、助役5・5%の減、教育長4・3%の減、議長3・2%の減、副議長3・2%の減、議員3・0%の減）のとおりに見直しが行われます。
- ・平成19年度以降については、引き続き実施についての検討が行われます。

○効果

- ・平成17年度：430万円
- ・平成18年度：430万円

(表1) 朝日町職員定員管理計画

年度	前年度末 職 員 数	年度当初職員数					年度末職員数					第3次行財 政改革大綱 の 職 員 数 (年度当初)
		年度当初 採用予定数	計（A）				当 年 度 退職者数 (B)	計（A－B）				
	計		計	町部 局等	病院	水道		計	計	町部 局等	病院	
12	194	8	151	46	5	202	7	146	44	5	195	202
16	186	3	136	49	4	189	11	127	47	4	178	189
17	178	2	126	50	4	180	10	119	48	3	170	181
18	170	3	120	50	3	173	1	119	50	3	172	177
19	172	0	119	50	3	172	5	114	50	3	167	176
20	167	1	115	50	3	168	3	112	50	3	165	172
21	165	0	112	50	3	165	1	111	50	3	164	169

※この計画以上に退職者があった場合は、採用を検討します。

※この計画には、教育長は人数に入っていないです。

⑤各種手当(職員)の見直し

○見直し内容

・平成17年度に試行された「時差勤務制度」が、平成18年度から本格導入。時間外勤務手当の削減が図られます。

・平成18年度は、20%削減している「管理職(医師を除く)手当」が引き続き実施されます。

・平成18年度から「役職加算手当」が見直されます。

・平成19年度から「通勤手当」が見直されます。

○効果

・平成17年度

：170万円

・平成18年度

：580万円

・平成19年度

：580万円

・平成20年度

：580万円

・平成21年度

：580万円

・平成22年度

：580万円

・平成23年度

：580万円

・平成24年度

：580万円

・平成25年度

：580万円

・平成26年度

：580万円

・平成27年度

：580万円

・平成28年度

：580万円

・平成29年度

：580万円

・平成30年度

：580万円

・平成31年度

：580万円

・平成32年度

：580万円

・平成33年度

：580万円

・平成34年度

：580万円

による円滑な業務遂行と、新陳代謝の促進が図られます。

・平成19年度から、町議会議員定数は12人(4人の減)となります。

⑦町議会議員定数の見直し

○見直し内容

・平成19年度から、町議会議員定数は12人(4人の減)となります。

○効果

・平成19年度：1,550万円

・平成20年度：1,640万円

・平成21年度：1,640万円

・平成22年度：1,640万円

・平成23年度：1,640万円

・平成24年度：1,640万円

・平成25年度：1,640万円

・平成26年度：1,640万円

・平成27年度：1,640万円

・平成28年度：1,640万円

・平成29年度：1,640万円

・平成30年度：1,640万円

・平成31年度：1,640万円

・平成32年度：1,640万円

・平成33年度：1,640万円

・平成34年度：1,640万円

・平成35年度：1,640万円

・平成36年度：1,640万円

・平成37年度：1,640万円

・平成38年度：1,640万円

・平成39年度：1,640万円

・平成40年度：1,640万円

・平成41年度：1,640万円

・平成42年度：1,640万円

・平成43年度：1,640万円

■業務の効率化

(業務委託の推進)

①図書館業務

○見直し内容

・現在の運営形態を維持しながら業務の効率化を進めるため、図書の貸出業務(資料管理・利用者管理・データ入力・創遊館利用等の貸出業務)が民間委託されます。

○効果

・平成19年度：350万円

・平成20年度：350万円

・平成21年度：350万円

・平成22年度：350万円

・平成23年度：350万円

・平成24年度：350万円

・平成25年度：350万円

・平成26年度：350万円

・平成27年度：350万円

・平成28年度：350万円

・平成29年度：350万円

・平成30年度：350万円

・平成31年度：350万円

・平成32年度：350万円

・平成20年度：400万円

・平成21年度：400万円

・平成22年度：400万円

・平成23年度：400万円

・平成24年度：400万円

・平成25年度：400万円

・平成26年度：400万円

・平成27年度：400万円

・平成28年度：400万円

・平成29年度：400万円

・平成30年度：400万円

・平成31年度：400万円

・平成32年度：400万円

・平成33年度：400万円

・平成34年度：400万円

・平成35年度：400万円

・平成36年度：400万円

・平成37年度：400万円

・平成38年度：400万円

・平成39年度：400万円

・平成40年度：400万円

・平成41年度：400万円

・平成42年度：400万円

・平成43年度：400万円

・平成44年度：400万円

・平成45年度：400万円

・平成46年度：400万円

・平成47年度：400万円

・平成48年度：400万円

・平成49年度：400万円

・平成50年度：400万円

・平成51年度：400万円

・平成52年度：400万円

・平成53年度：400万円

用語の解説

集中改革プラン

市町村などの地方自治体に対し国は、行財政改革の具体的な実施計画を「集中改革プラン」として公表するように求めています。

朝日町においては、第3次朝日町行財政改革大綱(平成16年11月策定)に基づいて検討した実施計画を「朝日町集中改革プラン」としています。「集中改革プラン」では、水道事業や病院事業等の職員の削減や、給与の適正化等の改革についても示すことが求められています。当町では個別の項目を設けず、全体の計画の中に盛り込んでいます。

④窓口受付業務

○見直し内容

・平成18年度から、戸籍年金係、町民税係、固定資産税係、生活環境係、保険給付係の諸証明発行業務の窓口が一本化されます。

・戸籍業務の電算化で平成19年度から、窓口受付業務を臨時職員が対応することに

・平成19年度：30万円

・平成20年度：30万円

・平成21年度：30万円

・平成22年度：30万円

・平成23年度：30万円

・平成24年度：30万円

・平成25年度：30万円

・平成26年度：30万円

・平成27年度：30万円

・平成28年度：30万円

(表2) 行財政改革による年度別効果額

歳出効果額

(単位：万円)

項 目			実 施 期 間					合計
			17	18	19	20	21	
人件費の縮減	定員の見直し	職員数の見直し	▲ 11,230	▲ 7,100	▲ 1,100	▲ 4,850	▲ 3,200	▲ 27,480
	給与の見直し	給与構造の見直し		▲ 1,050	▲ 2,090	▲ 3,140	▲ 4,180	▲ 10,460
		特別職給与の見直し	▲ 430	▲ 430				▲ 860
		各種手当(職員)の見直し	▲ 170	▲ 580	▲ 580	▲ 580	▲ 580	▲ 2,490
	議員定数の見直し				▲ 1,550	▲ 1,640	▲ 1,640	▲ 4,830
小 計			▲ 11,830	▲ 9,160	▲ 5,320	▲ 10,210	▲ 9,600	▲ 46,120
業務の効率化	業務の見直し	図書館運営の見直し			▲ 400	▲ 400	▲ 400	▲ 1,200
		給食業務の見直し			▲ 350	▲ 350	▲ 350	▲ 1,050
		水道業務の見直し			▲ 30	▲ 30	▲ 30	▲ 90
		窓口受付業務の見直し			▲ 300	▲ 300	▲ 300	▲ 900
	小 計		0	0	▲ 1,080	▲ 1,080	▲ 1,080	▲ 3,240
補助金の見直し				▲ 250	▲ 250	▲ 250	▲ 750	
経費の節減	公用車の軽自動車化				▲ 60	▲ 60	▲ 60	▲ 180
	町職員団体生命共済保険の非継続			▲ 50	▲ 50	▲ 50	▲ 50	▲ 200
	小 計		0	▲ 50	▲ 110	▲ 110	▲ 110	▲ 380
合 計			▲ 11,830	▲ 9,210	▲ 6,760	▲ 11,650	▲ 11,040	▲ 50,490

歳入効果額

(単位：万円)

項 目		実 施 期 間					合計
		17	18	19	20	21	
歳入確保	各種使用料・手数料の見直し			130	130	130	390
	保育料の見直し			330	330	330	990
	宅地分譲の積極推進	2,180	7,000				9,180
合 計		2,180	7,000	460	460	460	10,560

行財政改革による改革効果額

14,010

16,210

7,220

12,110

11,500

61,050

- 効果
・窓口での待ち時間の短縮など、住民サービスが向上されます。
- 見直し内容
・平成19年度：300万円
・平成20年度：300万円
・平成21年度：300万円
- ⑤西北部地区公民館
- 見直し内容
・平成18年度は、公民館・区長会・消防後援会・地区振興対策(道路対策含む)の各業務について、外部への委託が可能か、検討されます。
- 効果
・地域と一体となった施設の運営が可能となります。
- ⑥保育園
- 見直し内容
・平成20年度を目標に、3保育園のうち1保育園の民営化をめざします。
・具体的な実施方法等については検討委員会が設置され、その中で検討されます。
- 効果
・一時保育、延長保育、障害児保育などの多様なニーズに、弾力的な対応が可能になります。
- 補助金の見直し
- 見直し内容
・平成19年度までに、平成16年度補助実績(61件で4,628万円)の5%が見直されます。
・平成19年度補助金は4,372万円程度の見込みです。
- 効果
・平成19年度：250万円
・平成20年度：250万円
・平成21年度：250万円
- ①公用車の軽自動車化
- 経費の節減
- 見直し内容
・公用車購入の際は、軽自動車を導入されます(平成17年度から実施)。
- 効果
・車両購入費、燃料費、車検費用などの経費が削減されます。
- ②町職員団体生命共済保険の非継続
- 見直し内容
・平成19年度：60万円
・平成20年度：60万円
・平成21年度：60万円



住民と行政が 互いに 納得できる改革を！

朝日町行政改革推進審議会

会長 多田 賢司さん

改革を進めるにあたっては、住民へのサービス低下は避けては通れないと思います。ただ、そうしたサービス低下が生じる場合は、はっきりと町民に説明していただき、町民とともに自立の道を探っていく必要があります。

また、行政サービスにとって将来への投資は重要なこと。改革改革とばかり唱えて、経費削減だけを優先するのではなく、「町民が今望んでいるのは何なのか」など町民の声に耳を傾け、施策の重要度合いをきちんと見極めることが大切だと思います。

現在町では、豊龍の丘整備を始めとし、住民との協働による町づくりを模索しています。「町を良くしたい！」と思うみなさんの気持ちと、行政との対話による信頼関係が、たいへん強くなるのを感じています。行政だけ…住民だけ…ではない協働による町づくりを大前提に、両者がお互いに納得できる改革をこの「集中改革プラン」に沿って実施していただきたいと思います。

・町職員の死亡時に対する保険が廃止されます。

○効果

- ・平成18年度…50万円
- ・平成19年度…50万円
- ・平成20年度…50万円
- ・平成21年度…50万円

③投票区の見直し

○見直し内容

・昭和38年選挙から続いている町内20の投票区を再編するため、選挙管理委員会での検討されます。

○効果

・適正な規模の投票区となります。

■歳入の確保

①各種使用料・手数料

○見直し内容

・次のような「見直し基準」で、平成19年度までに各種使用料・手数料が見直されます。

1 過去3年以内に見直しが行われていないもの。

2 施設使用料などに減免措置が講じられているもの。

3 実際にサービスが提供されているが、利用者負担が徴収されていないもの。

4 ただし、法令等による制約や審議会等により決定されているものについては、

それに従う。

この結果、31項目中18項目で引き上げが行われます。引き上げ率は項目によって異なりますが、概ね10%の引き上げを目標に、5%から100%の引き上げが行われます。

・減免規定が見直され、7項目で新たな徴収（実質料金の20%程度）が行われます。

○効果

・平成19年度…130万円
（引き上げ分として60万円、減免団体見直し分として70万円、以下同じ）

・平成20年度…130万円

②保育料

・平成21年度…130万円

○見直し内容

・国や近隣市町の動向を踏まえ、平成19年度から、階層区分が15区分から9区分に変更されます。

・徴収金額の区分については、3区分（3歳未満児と3歳児及び4歳以上児）から2区分（3歳未満児と3歳以上児）に変更されます。

・平成17年9月対比で、平均9・4%（一人月平均1,560円）値上げされます。

○効果

・国の措置基準に準じて、適正な保育料となります。

・階層区分の簡素化、明確化が図られます。

・この結果、平成17年9月対比で、
増額となる人…134人
同額の人…6人
減額となる人…39人
となります。

・平成19年度…330万円
・平成20年度…330万円
・平成21年度…330万円

③区道整備事業に係る受益負担金の創設

○見直し内容

・区道を町が代行で工事する

場合、分担金条例が創設され、受益者から負担金が徴収されます。

・区の負担は、用地補償費全額、工事費・測量試験費の20%以内となります。

○効果

・条例設置により、住民にわかりやすい制度となり、整備促進が図られます。

④宅地分譲の積極推進

○見直し内容

・栗木沢住宅団地（4区画）、新宿住宅団地（5区画）の未分譲地について、町のHP（ホームページ）活用によるUターン、Iターン者への積極的なPRや、ハウスメーカーとの連携など総合的な取り組みにより、早期完売が進められます。

○効果

・平成17年度4区画売却
…2,180万円

・平成21年度まで完売
…7,000万円

なお、第3次朝日町行政改革大綱及び集中改革プランの全文は、町のHPでもご覧いただけます。

問 総務課行政推進係

☎67-2111

施政方針

主要施策の選択と集中

円を上回る国庫補助負担金の廃止・縮減等がなされるほか、各自自治体に自立を促す改革と言える税源移譲は三兆円規模となり、結果的に、自治体の自主一般財源は高まることになるようです。

このような状況の下、住民を引きつける政策や優良企業の誘致、更に少子化対策など、**町民の目線に立った町づくりと、町民と行政が一丸となることの必要性を感じています。**

効率的な行政システムを確立するため、徹底した「**行財政改革**」を推進するとともに、**将来の朝日町を担う子どもたちに夢と希望を与える「活力」となるよう、施策の「選択と集中」**を行い、次の4点を重点化し町政運営にあたりたい考えです。

①企業誘致と付加価値の高い産業の振興

公約に掲げる人口一万人復活と、当町が自立の道を歩み続けるために、**働く場の確保は絶対条件**です。企業を誘致するには、その企業に有利な条件整備と経営者とのマッチングが必要なので、的確な情報発信に努めるとともに、あらゆる機会を捉え様々な方々の協力と支援をいただき、全力で取り組みます。

基幹産業であるりんごを中心とした果樹産業振興としては、統一共選「**シナノすいーと**」ブランドの確立やふじりんごの台湾への輸出など、消費拡大の宣伝活動を積極的に進めます。県の「山形セレクション推進事業」の展開に合わせ「はれふじ」や「朝日町ワイン」などの町特産ブランドに、更なる磨きをかける取り組みを展開します。

昨年6月にオープンした㈱サテライト朝日、さらに、11月の明鏡橋開通に合わせた農産物直売所やコンビニエンスストアなどの開店で、交流人口の増加に加え、町商店街等の活性化にも期待しています。

昨年11月に始まった「平成のRINGOプロジェクト事業」。人材・製造技術・経営販売手法の研修を41名が受講しており、起業のきざしも伺えるので、**新たな設備資金支援制度を創設し、特産品開発など事業の多角化を支援していきます。**

②自然と調和した生活環境の整備

豊かな自然と調和した安全と安心、そして便利で快適な暮らしは、町民生活の基本です。

豊龍の丘整備などワークショップ



やまちづくり活動を展開している宮宿地区は、協働のまちづくりを積極的に推進しており、定住戦略や都市農村交流に向けた積極的な取り組みに期待がもたれます。『自然・人が共生できる、夢あふれるまちづくり』を基本理念とした「朝日町都市再生整備計画」を策定。**国土交通省の認定を受け、宮宿地区をエリアとした町づくり交付金事業に着手します。**

また、地域間における情報格差、いわゆる「デジタルデバイド」は、単に情報のスピードや量の格差だけではなく、生活の質、豊かさの格差とも言えるので、ぜひ解消しなければならぬ課題です。町内におけるADSLのカバー率は41%程度。そのうち、動画利用に満足と言われる区域は、NTT朝日局の周辺部に限られており、町内においてさえも格

日本の経済情勢は、特に企業部門の好調さが雇用環境の改善を通じて家計部門へ波及しており、民間需要中心の緩やかな回復が続いています。しかし、バブル崩壊後総じて景気回復優先の財政運営を行ってきた国の財政状況は、平成18年度末の公債（借り入れ）残高が約六〇五兆円に達する見込みなど、世界先進国の中でも最悪の水準にあります。さらに急速な少子高齢化等に伴う経費や公債費の増大等で、歳入歳出構造は益々硬直化している現状にあります。

一方、地方財政の公債費残高は、平成18年度末で二〇四兆円に達する見込みで、その償還負担の増加や社会保障関係経費の自然増などにより、大幅な財源不足となる状況です。

また、国策である「三位一体の改革」が進み、平成18年度までに四兆

差が生じている状況です。若者に魅力ある情報通信環境を提供し、交流・定住を促進させ、地域の活力を呼び戻すため、また、これからの企業立地促進を図る上でも、産業活動の基盤となっている高速情報通信基盤の整備を行う必要があります。

これらに対応するため、総務省の新規事業である「地域情報通信基盤整備推進交付金制度」を活用し、町全域に光ファイバー網を整備します。

③町の未来を担う人づくり

町の次代を担う人材育成は最重要政策課題であり、朝日町の未来への投資と言えます。将来を担う世代の誰もが子どもを産み育てたいと望めるよう、社会全体で子育てを支援する体制の確立や、若者の就労・結婚



対策、乳幼児医療対策の充実強化など、総合的な少子化対策を進めます。「子育て支援対策」として、昨年度から実施した6歳児までの医療費完全無料化を継続します。また、高校3年生までのインフルエンザ予防接種に対して50%以内の助成も町単独で実施します。

「学校教育」においては、意欲的に学び、授業や学校が楽しいと思える子どもの育成をめざし、結果として学力向上が図られるよう、学校教育員の協力を得て学力向上対策に取り組みます。

「結婚支援対策」では、ハッピープランミーティングからの提言書や年末に実施した結婚支援に関するアンケート調査がまとまりました。独身の方は、個別的なアドバイスを強く求めているようなので、プライバシーに十分配慮し、結婚に対する積極性を引き出す自己啓発や、結婚を促進するような地域環境づくりに取り組みます。

④健康で楽しく暮らせる福祉政策

今年度から「地域包括支援センター」を町直営で立ち上げ、介護予防施策

を推進します。地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるようになることをめざし、保健師・主任ケアマネージャー・社会福祉士（主事）などが連携して包括的に支えていく機関です。町民のニーズに適切に対応できるよう、健康福祉課内に設置します。

また、一人暮らし老人や外出の機会が少ない高齢者等が引きこもりにならないよう、地区の人たちと気軽に集まって楽しく過ごすことのできる「高齢者元気クラブ事業」の地区単位による普及拡大を図ります。

民間に任せられるものは民間へ

平成17年国勢調査人口速報値は、五年前の同数値と比較し744人減少し、8,593人です。このように人口減少が進む中で、行政部門の効率性を高め、行政機能の高い町にしなければなりません。厳しい財政状況の下、予算規模の拡大が見込めない中にあっても、縮小均衡志向に陥ることなく、無駄なものを削り、他の主体に委ねられることは委ね、自らの体質をフィットワークのよい状態に改善しなければなりません。これまで行政が主として提供してきた公共サービスについても、今後は、住民団体をはじめとするNPOや企業等の多様な主体が提供する、多様な仕組みを整えていく必要があります。

「民間に任せられるものは民間へ」を改革の基本とし、歳出の構造を抜本的に見直すことで、財政の自由度を高め持続可能な財政運営をめざす「朝日町第3次行財政改革大綱」を一昨年11月に策定しました。昨年度は「改革元年」と位置づけし、行財政改革大綱の具体的な実施計画、いわゆる「朝日町集中改革プラン」を策定。さらに今年度は、この集中改革プランを具体的に実施していく年になります。

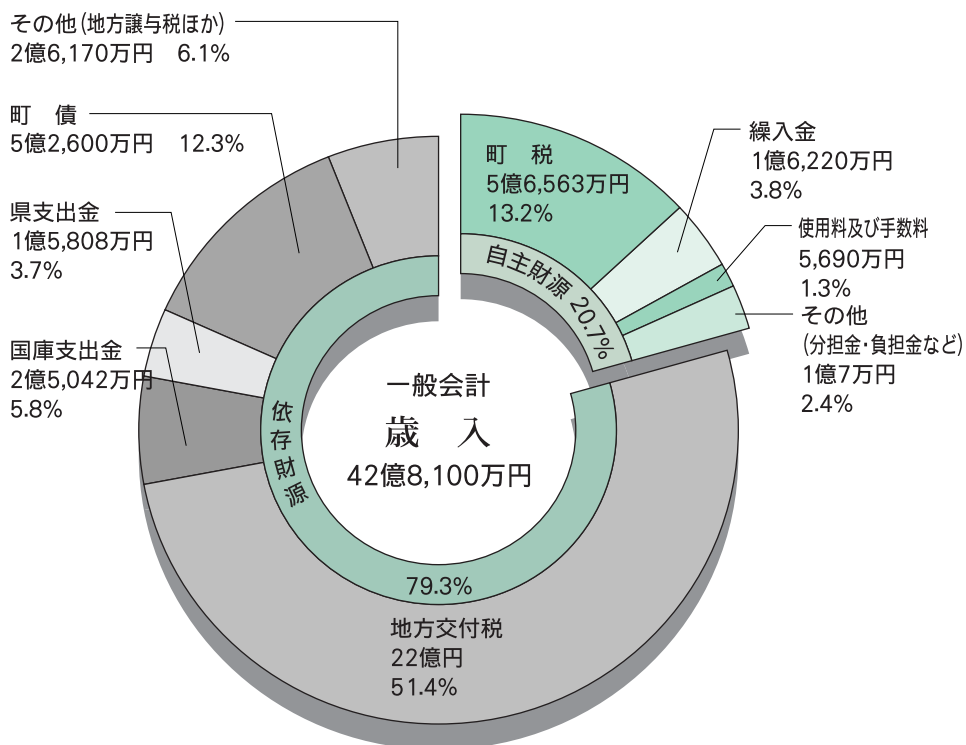
着実に実施

集中改革プラン

平成18年度

42億8,100万円

平成十八年度の当初予算が決まりました。
一般会計の総額は四十二億八千百万円で、昨年度に比べると四・三％、一億七千五百万円増加しました。
主な事業は、合併処理浄化槽設置推進事業、地域情報化推進事業などです。
限られた財源を効率的に配分し、重点事業に集中投入させた予算編成となりました。



※グラフ内の％表示については、四捨五入している関係上合計が100にならない場合があります。

に、町の予算をあえて家計にたとえてみました。
(6,700円)とします。

収入

家計にたとえた場合	
41万6,700円	月収 (給料)
8万4,888円	給料のうち基本給
33万1,812円	給料のうち諸手当
3万4,374円	貯金取崩しなど
5万5,062円	親などからの支援
7万 899円	金融機関からの借入
57万7,035円	

支出

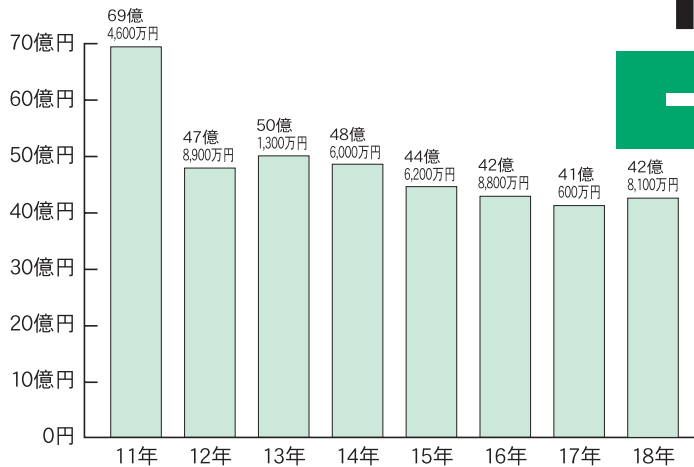
家計にたとえた場合	
13万9,316円	食費
11万5,071円	ローンの返済
2万8,043円	家庭の医療費など
4万7,903円	生計を別にしている家族への仕送り
9万8,781円	自宅の増改築・修繕費
9万 359円	区費などの各会費や交際費
5万6,214円	光熱費など
57万7,035円	



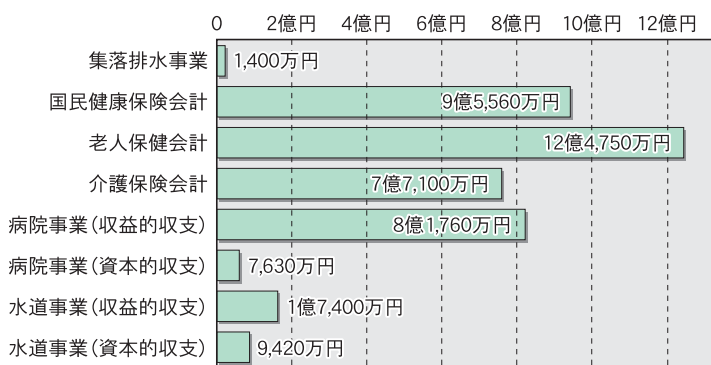
平成18年度

一般会計当初予算

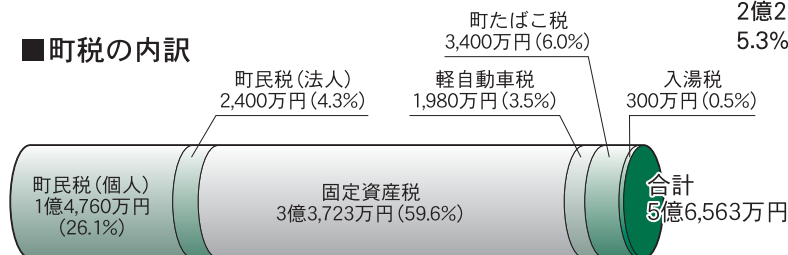
■一般会計当初予算の推移



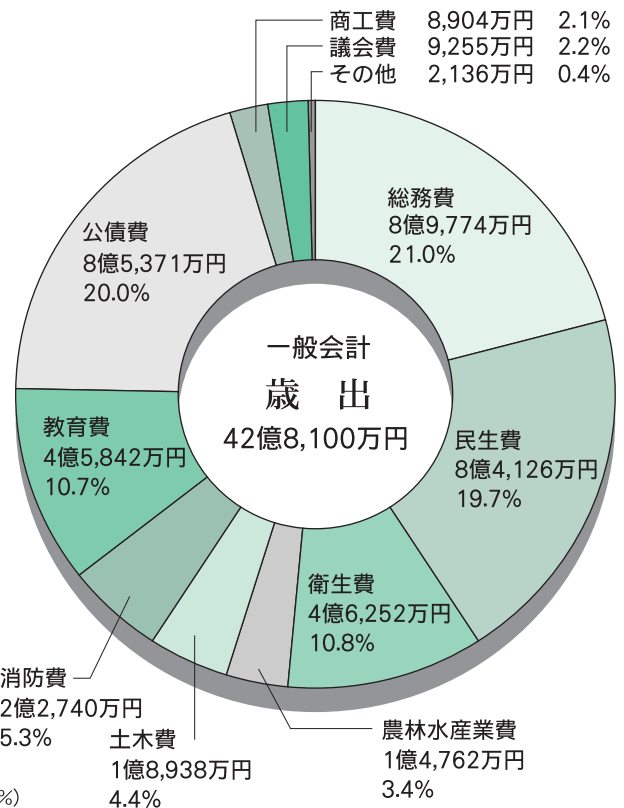
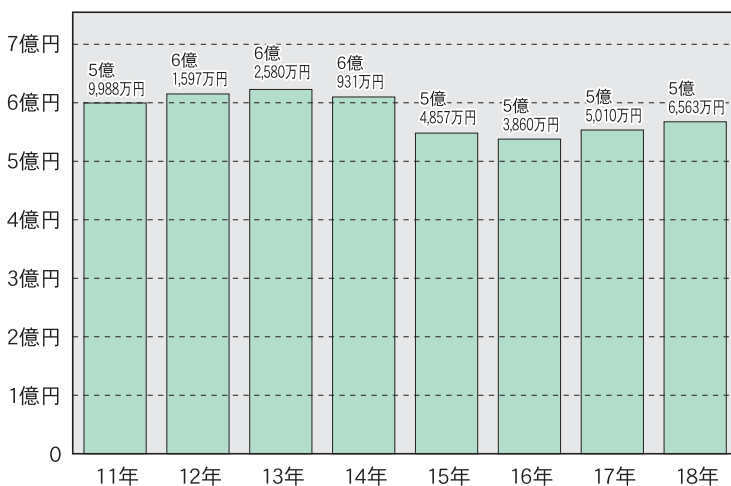
■特別会計・企業会計当初予算



■町税の内訳



■町税当初予算の推移



☆朝日町の財政状況をわかりやすくするため

○町税・地方交付税などを年収500万円（月収41万円）

平成18年度一般会計予算額	
町税・地方交付税など	30億9,148万円
うち町税など	6億2,978万円
うち地方交付税など	24億6,170万円
繰入金・財産収入など	2億5,502万円
国・県支出金	4億 850万円
町債	5億2,600万円
収入計	42億8,100万円

平成18年度一般会計予算額	
人件費	10億3,358万円
公債費	8億5,371万円
扶助費	2億 805万円
繰出金	3億5,539万円
投資的経費・維持補修費	7億3,285万円
補助費等・投資及び出資金・貸付金	6億7,037万円
物件費など	4億1,705万円
支出計	42億8,100万円

未来への投資 町の次代を担う 人材の育成



学力向上に向けた研究授業が今年も行われる

- 乳幼児医療給付事業 200万円
6歳児までの医療費を完全無料化し、親の経済的負担を軽減します。【健康福祉課】
- インフルエンザ予防接種助成事業 100万円
高校3年生までのインフルエンザ予防接種に半額助成します。【健康福祉課】
- 学力向上対策事業 174万円
町内全校で学力向上に向けた取り組みを実施します。【教育文化課】
- 中学校パソコン整備事業 1,400万円
朝日中学校に教育用パソコンを整備します。【教育文化課】
- 定住・結婚対策事業 69万円
結婚に結びつく自己啓発を支援するとともに、結婚を促進するような地域環境づくりに取り組みます。【政策推進課】
- 子育て支援センター事業 272万円
ふたば保育園で実施している、未入園児とその保護者に対する子育て支援サービスの、更なる充実をめざします。【健康福祉課】
- その他の主な事業
 - ・図書館事業 367万円
 - ・放課後児童クラブ事業 204万円
 - ・英語指導助手招致事業 451万円
 - ・小中学校芸能鑑賞事業 45万円
 - ・中学校スクールバス整備事業 1,619万円

健康で 楽しく暮らせる 福祉対策



高齢者元気クラブのさきがけ「前田沢」のいきいきクラブ

- 地域包括支援センター 1,400万円
高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活をできるようにすることをめざし、「地域包括支援センター」を町直営で立ち上げます。【健康福祉課】
- 健康教育の推進 680万円
国民健康保険加入者の各種検診への助成を実施します。【健康福祉課】
- 町立病院医療機器等整備事業 4,000万円
町立病院の生化学自動分析装置、ナースコール設備などを更新します。【町立病院】
- 高齢者の自立した生活の支援 300万円
地区の人たちが気軽に集まり、楽しく過ごすことのできる「高齢者元気クラブ事業」を、集落単位(40集落目標)で普及します。【健康福祉課】
- 福祉施設等の整備促進事業 780万円
介護予防拠点施設整備として、高齢者生産活動センターの修繕を行います。【健康福祉課】
- その他の主な事業
 - ・老人家庭除雪補助 79万円
 - ・訪問理美容サービス 15万円
 - ・配食サービス 59万円
 - ・敬老会助成 273万円
 - ・身体障害者福祉タクシー事業 94万円

主要施策の選択と集中

地域資源を活かした 付加価値の高い 産業の振興



起業支援R I N G Oプロジェクトの第2期が始まる

- 産業戦略会議の開催 10万円
産業政策の戦略を検討します。【産業振興課】
- 起業者と技術者の育成支援 200万円
特産品開発や起業者等への奨励金制度を創設します。【産業振興課】
- グラウンドゴルフ場整備事業 1,300万円
朝日自然観にグラウンドゴルフ場を整備します。【産業振興課】
- 堆肥購入補助事業 120万円
有機肥料を使った高付加価値型作物栽培の普及推進のため、堆肥購入補助を実施します。【産業振興課】
- りんご銘柄産地確立対策事業 110万円
「はれふじ」の全町的な取り組み展開や、県オリジナル品種の栽培を推進します。【産業振興課】
- 企業立地対策事業 40万円
企業誘致への取り組みを強化します。【産業振興課】
- 中山間地域総合整備事業 932万円
県営事業として、堆肥センター、用水路等の整備を行います。【産業振興課】
- その他の主な事業
 - ・中山間地域等直接支払事業 3,100万円
 - ・森林整備地域活動支援交付金 1,217万円
 - ・木材製品利用住宅建築奨励補助事業 225万円
 - ・園芸銘柄産地強化支援事業 100万円

自然と調和した 美しく快適な 生活環境の整備



町内全域に光ファイバー網が整備される

- 合併処理浄化槽設置推進事業 3,080万円
目標設置数は40基。新たな推進策として転入者加算補助制度を創出します。【建設水道課】
- まちづくり交付金事業 4,587万円
宮宿地区をエリアとしたまちづくり交付金事業を実施します。【建設水道課】
- 消防施設整備事業 2,100万円
防火水槽4基、消火栓6基設置します。【総務課】
- 除雪車整備事業 3,316万円
除雪機能を高めるために、除雪機械を更新します。【建設水道課】
- 地域情報化推進事業 3億8,620万円
町全域にブロードバンド環境を整備し、快適な情報通信環境を実現します。【政策推進課】
- 志藤六郎村おこし補助金 300万円
地域が元気になる新しいチャレンジ活動に対して補助します。【政策推進課】
- 美しい農村づくり促進事業 24万円
モデル地区において、地域住民と町及び県が連携して振興計画を策定し実践します。【産業振興課】
- 広聴活動事業 20万円
町長と語ろう・女性井戸端会議を継続していきます。【政策推進課】
- その他の主な事業
 - ・除排雪費 3,627万円

町職員 人事

四月一日付けで町職員の人事異動が行われました。改革元年と位置づけた昨年度は、一昨年度策定された行財政改革大綱の具体的な実施計画、いわゆる「朝日町集中改革プラン」が策定され、今年度はこの改革プランを具体的に実行に移していくこととなります。町の将来を担う人材の育成、安全・安心で快適な地域づくり、町民とともに進める協働の町づくり、豊かな生活を実現する産業振興など、人口一万人復活構想の実現に向け、重要施策への対応に配慮した内容となっています。また、係長相当職の副主査制度を設け、組織体制の充実を図っています。

組織機構の具体的な見直しについては、これまでの「収入役室」を「出納室」と名称変更し、その室長に管理職が当てられたほか、「行革推進係」が政策推進課から総務課に、「保険給付係」が税務町民課から健康福祉課にそれぞれ所管替え。「地域提案型雇用創造推進事業業務」も政策推進課から産業振興課に所管替えされ「産業促進係」が新設。また、「介護支援係」を廃止し「地域包括支援センター」が新設されるほか、「商工労政係」と「観光交流係」が統合され「商工観光係」となります。

このような組織機構の見直しにより行財政運営のスリム化が図られ、職員数も対前年度当初比で八人減の百七十二人となり、人的コストの削減に配慮した内容になっています。

なお、今年度の職員体制は次のとおりです。

三役

町長	鈴木 浩幸
助役	丸山 潔
教育長	長岡 重利

総務課 13人

課長 富樫 清志

課長補佐	阿部 弘美
課長補佐	川口 幸男
係長(兼)	川口 幸男

行革推進係

主任 井上智恵美

主任	菊地早百合
主任	佐竹 秀文
主任	長岡 季代
主任	阿部 信行

庶務係

主任 伊藤 弘美

主任	伊藤 淳
----	------

防災係(危機管理担当)

主任 阿部 弘美

主任	伊藤 淳
----	------

財政係

主任 渡辺 政一

主任	近衛 智之
主任	阿部 容一
主任	遠藤 憲一

課付主任

遠藤 憲一

選挙管理委員会

書記長(兼) 富樫 清志

書記(兼)	川口 幸男
書記(兼)	井上智恵美
書記(兼)	菊地早百合
書記(兼)	佐竹 秀文
書記(兼)	長岡 季代

政策推進課 8人

課長 成原 孝一

課長補佐	菅井 和広
課長補佐	清野 直治
課長補佐	清野 雅英
係長(兼)	清野 直治
主任	佐藤 修
主任	松田 勝美

戦略推進係

主任 清野 直治

主任	佐藤 修
主任	松田 勝美

定住対策係

主任 清野 雅英

主任	清野 直治
主任	佐藤 修
主任	松田 勝美

地域情報係

主任 清野 雅英

主任	清野 直治
主任	佐藤 修
主任	松田 勝美

税務町民課 13人

課長 堀 幸雄

課長補佐	清野 正幸
課長補佐	阿部 正文

町民税係

課長 堀 幸雄

課長補佐	清野 正幸
課長補佐	阿部 正文

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

主任 阿部 祐子

主任	阿部 祐子
----	-------

主任 齋藤 文子

● 農政係 主査兼係長 三浦 浩一 主任 日笠 紘 主事 海野 裕喜		● 事業係 係長 長岡 勉 主事 伊藤 雅樹		● 商工観光係 係長 鈴木 俊治 主任 小野 康仁		● 産業促進係 係長(兼) 佐竹 壽美 主任 阿部 忠之		● 農業委員会2人 事務局長(兼) 小川 澄夫 主査兼係長 菊地 洋一 副主査 高取 照子		● 建設水道課10人 建設 2115 水道 3570 課長 鈴木 清		● 整備係 係長(兼) 大谷 武一 主任 伊藤 真一 技師 海藤 繁幸		● 管理係 係長(兼) 阿部 則雄 主任 鈴木 昭博 主事 長岡 昭博	
--	--	-------------------------------------	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--

● 水追係 係長 長岡 浩利 副主査 高橋さた子 技術士 今井 一成		● 町立病院50人 院長(内科) 小林 達 副院長(外科) 桜井 文明 副院長(内科) 高橋 潤 医 長(内科) 加藤 幸恵 事務長 安藤 一夫 総看護師長 長岡 浩子		● 外来 看護師長 佐藤久美子 外科外来主任 児珠はつえ 内科外来主任 若月 裕美 看護師 野口小夜子 看護師 布施 智子 看護師 卯野留美子 看護師 鈴木 弘子 准看護師 長岡ひとみ 看護師長 鈴木恵美子 看護師 安藤由紀子 看護師 白川由美香		● 病棟 看護師長 鈴木恵美子 看護師 安藤由紀子 看護師 白川由美香	
--	--	---	--	---	--	---	--

● 在宅医療相談室 在宅主任 佐藤みどり 看護師 瀬尾美智子 看護師 関根 愛		● 薬局 薬剤師 今井 聡美		● X線室 技師長 葛蒲 潤司 技師 梅津 睦		● 療法室 作業療法士 清野 敏秀 理学療法士 高橋 陽子 理学療法士 伊藤 彩		● 検査室 技師長 村山 陽子 技師 岡崎まゆみ		● 給食室 管理栄養士 村山 智美 調理師 熊谷 尚子 調理師 阿部 玲子 調理師 鈴木 和子 事務長補佐 佐竹 長司	
---	--	--------------------------	--	--------------------------------------	--	--	--	---------------------------------------	--	---	--

● 庶務係 係長(兼) 佐竹 長司		● 医事係 係長 花山 護		● 議会事務局2人 事務局長 池田 伸一		● 庶務係 局長補佐 長岡 茂 係長(兼) 長岡 茂		● 監査委員会 書記(兼) 池田 伸一 書記(兼) 長岡 茂		● 出納室2人 室長 佐藤 伸寛 主事 伊藤 由佳		● 教委 教育文化課12人 養老 3302 主査 3302 主事 2118 主幹 富樫 誠 課長補佐 長岡 典巳 課長補佐 橋間 友則	
-----------------------------	--	-------------------------	--	--------------------------------	--	---	--	---	--	--	--	--	--

● 生涯学習係 係長(兼) 橋間 友則 副主査 高取のぶ子 主任 安達 和史 主事 白田 征治 業務員 近衛美智永		● 文化振興係 係長 小関 典子 主任 岡崎 国宏		● 西部公民館2人 主査兼館長 花山 芳文 業務員 白田 京子		● 北部公民館2人 主査兼館長 西田 和之 業務員 和田みよし		● 西五百川小学校3人 用務員 阿部 歩 調理師 佐竹 幾子 調理師 滝川 久恵		● 宮宿小学校3人 用務員 長岡 元広 調理師 佐竹 敏子 調理師 松田 篤子		● 和合小学校2人 用務員 鈴木 敏一 調理師 渡辺真由美	
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--

● 大谷小学校3人 用務員 渡辺 忍 調理師 遠藤 房子 調理師 安藤 孝子		● 大沼分校1人 用務員兼調理師 白田 幸子		● 朝日中学校1人 用務員 滝川 芳巳		● 新規採用者 (四月一日付) 事務吏員 五十嵐真理子(中 沢) 看護師 佐藤かおり(大江町)		● 退職者 (三月三十一日付) 建設水道課長 阿部 忠男 税務町民課長補佐 柴田 忠 社会福祉協議会事務局長 阿部 和夫 ふたば保育園長 高澤きく子 産業振興課主任 阿部 富子 農業委員会事務局主任 阿部かつゑ ふたば保育園主任 小川美江子 町立病院准看護師 今井さち子 町立病院主任栄養士 成原 千枝	
--	--	----------------------------------	--	-------------------------------	--	---	--	--	--

町の機構改革に伴う「係」の統廃合や所管替えにより、各行政サービスの窓口にも変更がありました。ここでは特に、町民のみなさんに関連のある業務を、担当部署毎にまとめてみました。

総務課

行革推進係

- ① 行財政改革の推進

庶務係

- ① 褒章、及び儀式
- ② 条例、規則の改廃、法令審査会
- ③ 職員の人事管理
- ④ 庁舎、開発センター等町の施設の利用管理

防災係

- ① 危機管理
- ② 消防団
- ③ 災害救助・山岳遭難
- ④ 交通安全
- ⑤ 交通災害共済
- ⑥ 交通事故相談
- ⑦ 防犯
- ⑧ 自衛官募集及び協力会、父母会
- ⑨ 日本赤十字社
- ⑩ 煙火の消費許可及び液化ガス設備工事届



財政係

- ① 町有財産の管理
- ② 法定外公共物の管理
- ③ 行政評価

政策推進課

戦略推進係

- ① 総合発展計画及び実施計画
- ② 町振興対策審議会
- ③ 区長会
- ④ 総合交通対策
- ⑤ 市町村合併
- ⑥ 宝くじ助成事業
- ⑦ 学校跡地利用
- ⑧ 土地利用対策の計画・規制

定住対策係

- ① 定住対策
- ② 結婚対策
- ③ 志藤六郎村おこし基金
- ④ 男女共同参画推進
- ⑤ エコミュージアム
- ⑥ 国際交流

地域情報係

- ① 情報通信基盤整備（光ファイバー）
- ② 町ホームページの運営管理
- ③ 広報・広聴活動
- ④ 広報委員会
- ⑤ 行政情報の収集及び提供
- ⑥ 女性井戸端会議
- ⑦ 各種指定統計及び諸統計調査
- ⑧ 各種統計資料の収集及び保存



税務町民課

町民税係

- ① 町民税の賦課徴収
- ② 法人町民税の賦課徴収
- ③ 軽自動車税の賦課徴収
- ④ 入湯税の賦課徴収
- ⑤ たばこ税の賦課徴収
- ⑥ 国民健康保険税の賦課徴収
- ⑦ 介護保険料の賦課徴収
- ⑧ 所得調査
- ⑨ 申告相談
- ⑩ 各税等の諸証明
- ⑪ 滞納（未納）処分
- ⑫ 口座振替
- ⑬ 異議申し立て
- ⑭ 各税の減免

固定資産税係

- ① 固定資産税の賦課徴収
- ② 土地、家屋、償却資産の評価
- ③ 町有な義土地の使用料
- ④ 公園の管理、閲覧
- ⑤ 固定資産税関係の諸証明
- ⑥ 異議申し立て
- ⑦ 固定資産税の減免



戸籍年金係

- ① 戸籍及び住民票謄抄本・印鑑証明書ほか諸証明の交付
- ② 出生届・婚姻届・死亡届・涉外戸籍など戸籍諸届
- ③ 転入・転出・転居・世帯主変更等住民基本台帳異動届
- ④ 国民健康保険・国民年金資格取得、喪失届
- ⑤ 外国人登録及び証明
- ⑥ 住民基本台帳カード・公的個人認証
- ⑦ 国民年金の裁定請求、保険

健康福祉課

福祉係

- ① 生活保護
- ② 民生児童委員
- ③ 敬老事業
- ④ 戦傷病者・戦没者遺族の援護
- ⑤ 高齢者生産活動センター（いもがわ温泉）
- ⑥ 介護保険の認定及びサービス
- ⑦ 介護保険被保険者証
- ⑧ 高額療養費（介護サービス費）の支給
- ⑨ 福祉サービス
- ⑩ 身体障害（児）者福祉
- ⑪ 知的障害（児）者福祉
- ⑫ 精神障害者の福祉

子育て支援係

- ① 児童福祉
- ② 児童手当
- ③ 母子、父子家庭の福祉
- ④ 児童の虐待防止
- ⑤ 幼児保育
- ⑥ 保育園の入退園
- ⑦ 保育園の保育料
- ⑧ 保育園の特別保育
- ⑨ 放課後児童クラブ（りんごっ



生活環境係

- ⑧ 人権擁護
- ① ごみ収集
- ② 路線バスの運行
- ③ 公害対策
- ④ 狂犬病予防
- ⑤ 墓地
- ⑥ 衛生組合



保険給付係

- ⑩ ⑨ ⑧ 福祉医療受給者証
- ① 国民健康保険被保険者証
- ② 老人保健医療受給者証
- ③ コルセット等の補装具代支給
- ④ 高額療養費（医療費）の支給
- ⑤ 入院時の食事代減額認定
- ⑥ 学生・出稼ぎ等の保険証
- ⑦ 出産育児一時金
- ⑧ 葬祭費支給

健康推進係

- ① 感染症
- ② 健康日本21
- ③ 精神保健福祉
- ④ 結核検診・精密検診
- ⑤ 保健事業（人間ドック・ミニドック・がん検診他）
- ⑥ 母と子の健康教育・乳幼児健康診査
- ⑦ フッ素塗布・フッ素洗口
- ⑧ 予防接種
- ⑨ 献血
- ⑩ 栄養教育・相談
- ⑪ 食生活改善推進事業
- ⑫ 保育園の献立作成



地域包括支援センター

- ⑬ 食育
- ⑭ 健康づくり
- ① 高齢者家庭の相談・支援
- ② 介護予防事業
- ③ 介護予防サービス計画
- ④ 高齢者元氣クラブ事業
- ⑤ 紙おむつ支給
- ⑥ 高齢者の虐待防止

産業振興課

農政係

- ① 中山間地域等直接支払制度
- ② 農作物の災害対策
- ③ 農作物振興
- ④ 安全・安心農産物生産流通体制整備
- ⑤ 農業制度資金
- ⑥ 農業経営改善支援センター
- ⑦ 町単独事業補助金
- ⑧ 地産地消
- ⑨ 水産業の振興
- ⑩ 水田農業構造改革対策
- ⑪ 農業生産団体、農業後継者新規就農者の指導育成
- ⑫ グリーンクラブ
- ⑬ 農業指導業務定例会の開催
- ⑭ 堆肥センターの運営支援及び畜産振興
- ⑮ 園芸関係補助事業
- ⑯ 植物防疫
- ⑰ グリーンツーリズム
- ⑱ 環境保全型農業の推進



事業係

- ① 農業農村整備時事業の調査・計画
- ② 土地改良事業
- ③ 地すべり防止区域の管理

- ④ 農林業施設等の災害復旧事業
- ⑤ 森林整備及び森林施業
- ⑥ 森林整備地域活動支援交付金
- ⑦ 緑のプレゼント
- ⑧ 緑の募金
- ⑨ 有害鳥獣駆除及び飼養許可
- ⑩ 治山事業
- ⑪ 普通共用林野

商工観光係

- ① 商工団体の指導育成及び商店街の振興
- ② 商工業融資制度
- ③ 事業振興協議会
- ④ 勤労者福祉
- ⑤ 消費者行政
- ⑥ 雇用対策
- ⑦ 計量器
- ⑧ 出稼ぎ手帳交付
- ⑨ 木材製品利用住宅建築奨励助成
- ⑩ 観光に関する情報収集
- ⑪ 朝日町観光協会
- ⑫ 大沼浮島・朝日自然観・最上川・山岳の観光振興
- ⑬ りんごの樹オーナー制度
- ⑭ 各種イベント（気まぐれ・溪流まつり・ワインまつり・雪まつり・産業まつり）



産業促進係

- ① 産業戦略推進
- ② 起業支援
- ③ 企業誘致
- ④ 特産品の開発及び販路拡大
- ⑤ 農村づくり事業



農業委員会

- ① 農地の権利移動及び転用
- ② 農作業標準賃金及び標準小作料
- ③ 農業者年金

建設水道課

整備係

- ① 道路、河川、交通安全施設等の調査・工事
- ② 砂防、地すべり及び急傾斜地等の防災事業
- ③ 道路、河川等の災害復旧事業
- ④ 排水路の調査及び整備計画
- ⑤ 合併処理浄化槽設置事業の普及推進
- ⑥ 区道整備の補助
- ⑦ 住宅団地の販売促進
- ⑧ 建築基準法に基づく申請、進達

管理係

- ① 道路及び河川等の維持管理
- ② 町道等の除雪
- ③ 町営住宅（清水ハイツ、みどりハイツ）
- ④ がけ地近接危険住宅移転事業
- ⑤ 緑ヶ丘公園及び朝日川公園の維持管理
- ⑥ 大谷地区集落排水処理場の維持管理及び運営
- ⑦ 大谷地区集落排水処理施設使用料

水道係

- ① 水道料金
- ② 水道給水工事

町立病院

- ③ 水道の開始・休止・廃止
- ① 外来診療（内科・外科・整形外科・眼科）
- ② 入院診療
- ③ 二次検診
- ④ 在宅医療（訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ）
- ⑤ ケアプラン作成
- ⑥ 北部診療所診療



議会事務局

- ① 議会傍聴
- ② 請願、陳情及び意見書

出納室

- ① 出納事務

教育文化課

学校教育係

- ① 教育委員会及びその他の教育機関の職員の任免並びに学校職員の人事
- ② 叙位、叙勲、褒章及び教育功労者その他の表彰
- ③ 朝日町育英会
- ④ 児童生徒の就学
- ⑤ 教職員及び児童生徒の保健衛生及び福利厚生
- ⑥ 教育財産の管理
- ⑦ 学校給食
- ⑧ 英語指導助手
- ⑨ 教科用図書採択及び無償配布

生涯学習係

- ① 生涯学習の推進
- ② 生涯学習情報の収集・提供
- ③ 家庭教育
- ④ 青少年教育
- ⑤ 女性教育
- ⑥ 高齢者教育
- ⑦ 成人教育
- ⑧ 自治公民館活動の推進
- ⑨ 視聴覚教育
- ⑩ 体育施設の運営
- ⑪ 体育指導委員会
- ⑫ スポーツ教室や各種大会の開催
- ⑬ 町体育協会
- ⑭ スポーツ少年団の育成



文化振興係

- ① 文化財の保護・調査
- ② 文化財保護委員会
- ③ 町史編さん
- ④ 民俗資料の収集整理
- ⑤ 芸術文化の振興
- ⑥ 芸術文化団体の育成
- ⑦ 芸術文化祭
- ⑧ ホール事業
- ⑨ ギャラリー展示
- ⑩ 図書館の管理運営
- ⑪ 図書資料収集・展示
- ⑫ 公民館等施設の利用運営
- ⑬ 各講座学級等の企画運営
- ⑭ 各種関係団体との連携

西・北部公民館



定例議会

3月定例議会が9日から9日間の日程で開かれ、中学校ボイラー室アスベスト除去工事費など、歳入歳出それぞれに640万円を追加し、平成17年度予算総額42億9,180万円とする一般会計補正予算など29議案が審議、可決されました。議案の採決事項は次のとおりです。

【原案可決】

③平成十七年度朝日町介護保険特別会計補正予算について、歳入歳出それぞれに五百万円を追加し、予算総額七億三千六百五十万円とする。

【原案可決】

④平成十七年度朝日町病院事業会計補正予算について、収益的収入のうち医業収益から三千八百三十五万一千円を減額、一方、医業外収益に三千三百三十五万一千円を追加し、予算総額八億四千四百五十万円とする。

【原案可決】

⑤人事行政の運営等の状況を公表するのに必要な条例制定。

【原案可決】

⑥朝日堆肥センターの大規模修繕に備えるため、維持管理基金を設置する条例設定。

【原案可決】

⑦武力攻撃などの事態に対応するため、朝日町国民保護協議会の組織及び運営について、並びに国民保護を実施に移すための対策本部設置に必要な事項を定める条例設定。

⑧朝日町国民健康保険特別会計補正予算について、歳入歳出それぞれに六百六十二万五千円を追加し、予算総額九億二千二百五十万円とする。

⑨町長と助役、教育長の給料及び町議会議員の報酬削減（表1参照）するための条例制定。

【原案可決】

⑩一般職への新たな給与制度を導入するため、並びに、国民保護法に基づき災害派遣手当を支給するための条例制定。

【原案可決】

⑪被保険者の医療、介護に係る保険給付費と税負担の均衡を図るため、朝日町国民健康保険税条例を一部改正する条例制定。

【原案可決】

⑫介護保険法の改正に伴う朝日町第三期介護保険事業計画との整合性を図るため、朝日町介護保険条例を一部改正する条例制定。

【原案可決】

⑬朝日町自然観、朝日町緑地等管理中央センター（Ⅱロジック）ら、農

【原案可決】

⑭町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

林補助事業に係る農業近代化施設

（Ⅱ朝日自然観敷地内「大地」及び「気」）

朝日町テレワークセンター（Ⅱ朝日自然観敷地内「コテージ22号棟」、朝日町白倉森林総合利用施設（Ⅱ朝日自然観敷地内「コテージB棟」及び「ワイン館」、朝日町簡易宿泊施設（Ⅱ朝日自然観敷地内「コテージA棟」）のそれぞれに指定管理者制度を導入するため、それぞれ同施設の設置及び管理に関する条例を一部改正する条例制定。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

町営バスの機能を兼ね備えた立木・白倉方面のスクールバス更新等のための辺地計画の変更。

（表1）特別職等の給料・報酬月額

●朝日町特別職（期間 H18.4.1～H19.3.31）

職名	給料月額	
	条例上の金額	現行の金額
町長	820,000円	735,000円
助役	635,000円	600,000円

●朝日町議会議員の報酬（期間 H18.4.1～H19.3.31）

職名	報酬月額	
	条例上の金額	現行の金額
町議会	議長	310,000円
	副議長	250,000円
	議員	235,000円

●朝日町教育長（期間 H18.4.1～H19.3.31）

職名	給料月額	
	条例上の金額	現行の金額
教育長	575,000円	550,000円

寄付採納報告

①カーブミラー4基(82,400円相当)

さがえ西村山農業協同組合 代表理事組合長 今田正夫 氏
全国共済農業協同組合連合会山形県本部 運営委員長 遠藤芳雄 氏

②交通安全のぼり旗60本(75,600円相当)

山形県北部特定郵便局長会 会長 真室川郵便局長 杏澤康平 氏

③健康づくり事業へと金員100,000円

大井信雄 氏 (西船渡)

町政報告

め細かな指導を可能にするため、国に対し教職員配置の更なる充実を盛り込んだ次期計画の策定を求める意見書の提出。【原案可決】

■町のホームページを一新

デザインも町特産りんごの赤を基調とした斬新なもの。今後とも積極的な情報発信に努める。

■豪雪対策本部を設置

昨年12月中旬から大雪に見舞われ、12月26日に町長を本部長とする豪雪対策本部を設

置。町民の不安を解消し生活の安定を図るため、生活道の確保や助成

基準を拡大した老人世帯への雪下ろし助成、

気配り除雪

の実施、雪害防止の喚起を行うなど、関係各課で対策を講じた。

■新年度から具体的な結婚対策に着手

結婚対策推進協議会から12月に提出いただいた中間報告をもとに、独身の方へアンケート調査を実施。その結果を参考にしながら、積極的行動への支援、情報提供、環境改善などの具体的対策を、4月から始めていく予定。

■町民税の完納に向けて努力

町税現年度分の1月末現在での収納率は85・9%。昨年同期に比較し1・0%下がっている。今後、収納状況を整理し、完納に向けて努力。

■し尿中間貯留槽廃止に向け

四ノ沢にあるし尿中間貯留槽。国道改良により今年の秋頃から使えなくなる。周辺住



民への環境問題などを考慮し、移転をせず廃止に。し尿収集業者からは、クリーンセンターまで直送してもらうよう協議を進めている。

■増え続ける介護保険認定者

1月末現在494人で、昨年同期と比較して10・3%の伸び。居宅介護サービス利用者は255人、施設介護サービス利用者は115人となっている。

■年々受診率アップインフルエンザ予防接種助成事業

65歳以上の高齢者が対象。今年度は53・7%に当たる1,559人が接種。

■17年産りんご生産量は平年並みだったが単価下げる

全国的に他の競合果実の出荷ずれこみで総体的に価格安。厳しい販売状況となった。中生種の「シナノすい」とに關して、数量は1万ケースを超えたが、着色遅れにより単価は前年比80・1%。



■売れる米づくり生産を推進

堆肥センターで生産された堆肥が、平成17年春と秋に町内80ヘクタールの水田に散布。売れる米づくり生産の推進を行っている。

■県内で初めての開催

日本スノーボード協会公認のスノーボードプロツアー、朝日自然観YTSカップが朝日自然観スノーパークで開催。元オリンピック日本代表選手など、全国各地からプロ・アマ総勢160人の若者が参加。上位大会への出場権と賞金獲得をめざし「ストリートジャンプ」と「ハーフパイプ」の2種目に熱戦を繰り広げた。



■2地区で水辺プラザ事業

国が工事を発注。雪谷地区については12月に終了。玉ノ井地区については、現在工事中で3月末の完成予定。駐車場が整備されることで、カヌー愛好者や水辺に親しむ方のよ

り多くの利用に期待している。

■当初計画どおり設置

合併処理浄化槽は、当初の計画どおり40基を設置。今後、より一層の推進に努める。

■町立病院外来診療を充実

山形大学医学部より医師派遣をいただいて、専門の肝外来・循環器外来を週1回設置。在宅医療にも力を入れており、常勤医師による週3回の訪問診察をはじめ、訪問看護・リハビリなど、地域に根ざした包括ケアの拠点として取組んでいる。

■「心をはぐくむ給食週間」に地域生産物のダチョウ肉

食は命を育む基本であることを狙いとした県教育委員会が勧める取り組み。12月から1月にかけて各小学校で、ダチョウ肉を使用した給食が行われた。

■狂言の魅力を堪能

創造館開館五周年を記念し、六百年の伝統をもつ古典演劇「狂言・野村万蔵の会」の公演が行われた。解説を交えたユーモアあふれる演目に笑いが絶えず、新春にふさわしい公演となった。

国民健康保険税と介護保険料が変わります。

国民健康保険税の負担が増します

みなさんからいただいている国民健康保険税は、「医療分」と「介護分」に分かれています。

【医療分】国民健康保険加入者に係る医療費は、毎年増加しています。

しかし、医療分の税負担は、平成14・15年度に税率を微調整したものの、平成10年度以降横ばいになっており、抜本的な見直しは、平成7年度以降実施されていません。

その結果、町国民健康保険特別会計は、平成8年度から赤字の状況が続いており、給付基金を取り崩して対応している状況です。平成18年度当初予算についても、基金を取り崩して編成されました。

このようなことから、今後も国民皆保険制度を維持するために、**国保税の10%程度の引き上げ**が必要となります。

います。

その結果、平成15年度以降は不足が生じ、給付基金の取り崩しで対応している状況です。

介護保険事業計画が、当町においても改訂されますので、給付と負担のバランスを図るため税率を見直し、負担額の引き上げが必要となります。

第1号被保険者(65歳以上の人)の介護保険料の負担が増します

介護保険料については、三年を一期とする町の介護保険事業計画に基づき決められています。

平成17年度に見直しを行い、平成18年度から平成20年度までの計画を策定し、保険料が決定されました。

決定にあたっては、当町の高齢者の現状と将来推計が基になっています。人口は減少傾向にあるものの、75歳以上

健康福祉課

67-2116

■第1号被保険者(65歳以上)の所得段階区分別介護保険料の基準額に対する割合と月額保険料

改 定 前				改 定 後							
区 分		平成15～17年度		区 分		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
		基準額に対する割合	月額保険料(円)			基準額に対する割合	月額保険料(円)	基準額に対する割合	月額保険料(円)	基準額に対する割合	月額保険料(円)
第1段階	生活保護受給者及び世帯全員が住民税非課税者で、老齢福祉年金を受けている人	0.50	1,490	第1段階	生活保護受給者及び世帯全員が住民税非課税者で、老齢福祉年金を受けている人	0.50	1,825	0.50	1,825	0.50	1,825
				第2段階	世帯全員が住民税非課税者で、前年の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人	0.50	1,825	0.50	1,825	0.50	1,825
第2段階	世帯全員が住民税非課税の人	0.75	2,235	第3段階	世帯全員が住民税非課税者であって、第2段階に該当しない人	0.75	2,740	0.75	2,740	0.75	2,740
				(経過措置)	第4段階被保険者のうち、第1、第2段階からの激変緩和措置が対象となる人	0.66	2,410	0.83	3,030	—	—
第3段階	世帯の誰かに住民税が課税されているが、本人は住民税非課税の人	基準額	2,980	(経過措置)	第4段階被保険者のうち、第3段階からの激変緩和措置が対象となる人	0.83	3,030	0.91	3,325	—	—
				第4段階	世帯の誰かに住民税が課税されているが、本人は住民税非課税の人	基準額	3,650	基準額	3,650	基準額	3,650
第4段階	本人が住民税課税者で、前年の合計所得金額が200万円未満の人	1.25	3,725	(経過措置)	第5段階被保険者のうち、第1、第2段階からの激変緩和措置が対象となる人	0.75	2,740	1.00	3,650	—	—
				(経過措置)	第5段階被保険者のうち、第3段階からの激変緩和措置が対象となる人	0.91	3,325	1.08	3,945	—	—
第5段階	本人が住民税課税者で、前年の合計所得金額が200万円以上の人	1.50	4,470	(経過措置)	第5段階被保険者のうち、第4段階からの激変緩和措置が対象となる人	1.08	3,945	1.16	4,235	—	—
				第5段階	本人が住民税課税者で、前年の合計所得金額が200万円未満の人	1.25	4,565	1.25	4,565	1.25	4,565
第6段階	本人が住民税課税者で、前年の合計所得金額が200万円以上の人	1.50	5,475	第6段階	本人が住民税課税者で、前年の合計所得金額が200万円以上の人	1.50	5,475	1.50	5,475	1.50	5,475

川村新一さんが総務大臣表彰を受賞

朝日町明るい選挙推進協議会長の川村新一さん（大谷二）が、このたび総務大臣表彰を受賞されました。各種選挙が行われる際、有権者に棄権防止を呼びかける独自の啓発チラシを作成し全戸に配布するなど、これまで18年の長きにわたり明るく正しい選挙の推進に奔走し、有権者一人ひとりの政治意識の高揚に努めてきた実績が公に認められたものです。



事実、その地道な活動が常に高い投票率につながっており、昨年行われた第44回衆議院議員総選挙でも、83.27%という県内第1位の投票率を達成しています。

ハッピープランサポート(結婚支援)が始まります

ハッピープランミーティング（白田忠一座長）の提言や昨年の12月に実施したアンケート結果を受けて、いよいよ「ハッピープランサポート」がスタートします。支援を希望した方に対し、相談やアドバイス、情報提供、専門家の紹介、コーチング手法による継続的後押しなどを進めていくもの。



ハッピープランミーティングでは、コーチングの専門講師から支援方法についての研修を受けるなど、より充実した内容で支援できるよう準備が進められてきました。町民の皆さんからの申し込みや結婚に関する各種情報をお待ちしています。

〔問〕 朝日町ハッピープランサポート事務局(政策推進課内)

☎67-2112 E-mail teiju@town.asahi.yamagata.jp

研修の成果を披露 平成のRINGOプロジェクト vol.5

地域に根ざした新たな産業の開発と振興策により雇用機会を拡大していく目的で、41人の起業をめざす受講生が集まり昨年11月にスタートした「朝日町平成のRINGOプロジェクト」。これまでの5カ月間にわたり、経営の基礎やマーケティング手法、生産管理能力などの座学と加工技術を学び、第1期が終了しました。その研修成果を発表する会が3月24日、開発センターホールで行われました。



すぐに商品化が考えられる「りんごエキス」や「塩がない漬物」の作り方などが報告されたほか、町の基幹作物であるりんごやダチョウ肉を使った新レシピが紹介。最後に、座学研修を総括した塩原未知子氏から、これからの新たな意気込みとその成果を書き込む色紙が、研修生みんなに手渡されました。

人間は自然の一部

この春、改めて自然の力の大きさを痛感させられました。

四月七日未明、町内大船木地区（大淀・大船木間）において、大規模な地滑りが発生。県道大江長井線を含む長さ約百メートル幅七十メートル深さ二十五メートルの崖地が、眼下を流れる最上川に川幅三分の一

まで流出しました（四月十日県発表）。

地元の方のお話では、今回地滑りのあった土地は、約百年前にも大規模な地滑りがあり、かなりの土砂が最上川に流出したという事です。

詳しい因果関係はまだ調査中ですが、この冬の大雪による雪どけ水等も原因の一つではないかと推測されます。またこの土地についてはここ十年來耕作は行われていなかったと

いう話もありました。

ここで確かに言えることは、人間は大自然の一部である。人間は自然と相対する立場ではなく、自然を形づくっている山川草木鳥獣魚等と等しく、自然を形づくっているものの一つだということです。

人間の生活そのものは自然の営みそのもので、守るとか保護するといふ次元を超えた一体となったもの、

一つのものとして考えていかなければならないと思うようになりました。

急激な少子高齢化、労働人口の減少、地域社会の諸問題が、すなわちこのように、大きな自然の営みの中にも、深く大きく影響しているのではないかと、この地すべり災害を通して改めて考えさせられたところです。

朝日町長 鈴木浩幸



山形銀行ライヤーズによる
バスケットボールクリニック(3月11日)



初めての試み 池坊ミニ華展
(3月18日～3月30日)

まちの話題

①暮らしの^{えて まえ がくしゅうさい}得手前^え楽習祭(3月26日／創遊館)



今回発掘された得手前がパネル化され会場に展示された



手作りこんにゃくやりんご寿司・うさぎ汁が振る舞われた

町に^{いて}いる！こんな「得手前^えな人」

本人にとっては生活の一部であり当たり前のことでも、よそから見ればそれが名人技であるということがよくあります。その名人技をあえて「得手前」と表現し、昔ながらの技や知恵を守り伝えていくことの必要性和、今後の町づくりに生かしていけるものを発掘する調査研究が、実行委員会である「暮らしの得手前してみっかい(五十嵐武喜会長)」が中心となりこの1年間行われてきました。地域を元気にする「郷土学(先人学)」事業として日本財団からの助成を受け、NPO朝日町エコミュージアム協会(長岡信悦理事長)と町とが協働で実施してきたものです。

様々な得手前の人が町内に存在する中で、「得手前な方が高齢で特に調査を急ぐ必要がある」など6つの条件により、11人の得手前をピックアップ。11人の調査員が本人からの聞き取りや直接体験してみるなどして、その結果をパネルにまとめ

た成果発表会「暮らしの得手前楽習祭」が3月26日、創遊館で行われました。

一貫した有機農業に取り組んでいる渡辺常代さん(元町)をはじめ、遺跡発掘の菅井進さん(宿)、木炭づくりの高橋熊次郎さん(水本)、こんにゃく作りの松田操さん(栄町)、筏流しの堀惣次郎さん(舟渡)、古槓和紙の清野よし子さん(古槓)、柿渋の長岡啓さん(西町)、川干し・山遊びの清野孝一郎さん(送橋)、ガマ葉細工の阿部正二さん(立木)、山の暮らしの長岡正昭さん(曲渕)、うさぎ汁の高橋道子さん(水本)、以上11件の調査報告がなされました。

30年ぶりに再現された味噌仕立てのうさぎ汁なども振る舞われ、参加した人たちは昔ながらの風味をしばし楽しんでいました。

なお、得手前内容を紹介するパネルは、創遊館内エコルーム前に7月まで展示されています。

各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第39回町民バドミントン
フェスティバル
(3月26日／町民体育館／
参加者数55人)

【団体戦】▽Aブロック①パウーズ(荒井謙治代表)②チエリーズ(佐藤義明代表)
③アイジー工業(小室孝博代表)▽Bブロック①マリナーズ(鈴木政利代表)②MBCレディース(森山緑代表)③サガエクラブ(鈴木清美代表)

【個人戦】▽オープンダブルス1部①荒井謙治・小林国昭②秋葉勇・菅野辰夫③秋葉一久・熊田和也③小室孝博・阿部隆太▽オープンダブルス2部①本間広・永尾郁子②今井一成(大町)・鈴木尚子(松程)③菅井栄・安孫子良一③鶴田永一郎・渡辺重▽レディースダブルス①瀧口幸恵・松岡麻美②森山緑・清野美由紀③荒井克仁・荒井彩恵子③佐藤瑞葉(宿)・大野愛(小原)



力の限り勝負！一本の綱に集中

中部地区子ども会育成協議会（佐藤重洋会長）が主催する地区子ども会綱引き大会が3月21日、町民体育館で開催されました。各子ども会単位で行われるお別れ会を前に、地区内の小中学生が一堂に会する本大会も今回が13回目。約300人が参加し、小学校低学年から中学生までが一丸となって一本の綱を引き合いました。

綱を引く子どもたちは当然のこと、隣で我が子らに喝を入れる保護者らの声援にも力が入ります。優勢に進んでいても、いったん体勢を崩し転倒などしてしまえば形勢が一瞬にし逆転してしまう綱引き。審判の判定が下りるまで気が抜けない競技だけに、一瞬の隙をも逃すまいと歯を食いしばって引き合う子どもたちの表情が印象的でした。



内容をユニークな競技に一新

西部地区子ども会育成協議会（小林勝典会長）が主催する第1回西部キッズ・レクリエーション大会が3月21日、健康増進センターで開催されました。各子ども会単位で行われるお別れ会を前に、地区内の小中学生約140人が一堂に会する大会。昨年までの「輪投げ・ダーツ大会」から名称も内容も一新されました。

ピンポン球をスプーンで運ぶボール運びや大豆を箸ではさみ隣の皿に移す大豆はさみ等、手頃な道具を利用したユニークな競技など合わせて6種目（5つの共通種目と1つの学年別種目）に挑戦。起用な子とそうでない子の勝敗がはっきりついた大豆はさみ。今大会の最高記録は、白川翔梧さん（松程）の1分間に108個でした。



上手に移せるか 大豆はさみ

③ 古代米を使ってクッキーづくり(3月17日/西五百川小学校)



棚田米学習の集大成

今年4月から6年生になった西五百川小学校の児童たちが、昨年度年間を通して、総合学習の中で取り組んだ地元能中樺平の棚田米。広報あさひまちでもこれまで何回か紹介してきましたが、それを締めくくる「古代米を使ったクッキーづくり」

がこのたび同校で行われました。甘くて香ばしく焼き上がり、児童たちも大満足の様子。きれいにラッピングし可愛らしく完成させたクッキーは、「棚田のPRに役立ててください」と樺平棚田保全推進委員会の志藤勝幸会長に手渡されました。

また、同じような目的で、棚田米をモチーフにしたキャラクターを一人ひとりが描き上げ、阿部美咲さん（太郎三）に町長賞、阿部結希さん（ハツ沼）に樺平棚田保全推進委員長賞が贈られました。その作品は、広報あさひまち今月号の裏表紙に掲載しています。

可愛らしいキャラクターをどうぞご覧ください。

まさに、地元のシンボル棚田米学習の集大成となりました。



みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)
- Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
- URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp
- 携帯電話向けサイト「モバイル朝日町」／http://www.town.asahi.yamagata.jp/keitai/index.html

町民の声



品種別等被害面積及び被害金額

		栽培面積 (アール)	被害面積 (アール)	被害金額 (万円)
損傷など	りんご	46,369	11,321	23,717
	西洋なし	3,200	960	1,324
	ぶどう	500	200	327
	さくらんぼ	1,400	280	126
	もも	1,800	180	324
	すもも	300	60	94
	小計	53,569	13,001	25,912
施設	ぶどう棚			200
	さくらんぼ雨よけハウス倒壊			615
	園芸ハウス			70
小計				885
合計				26,797

平成18年豪雪による
果樹などの被害状況は？

年末から記録的な大雪に見舞われた今シーズン。

町の基幹作物であるりんごの樹の枝折れなど、果樹への被害が大きかったようですが、その被害状況について教えてください。

【匿名】
このたびの豪雪による果樹への被害については、シーズン初期の頃から危惧してい

たところ。根雪になったのが例年になく早かったことと、降り始めから初期の段階で集中した降雪となったこともあり、農家の方にとっては冬支度が完全に終わらないままに迎えた、大変なシーズンだったのではないだろうか。さて、雪解けとともに現地への立ち入り調査を実施したところ、果樹の枝折れやさくらんぼ雨よけハウスなどの倒壊など、被害状況が明らかに

なりました。

町内ではやはり、栽培面積が最も広いりんごの被害が甚大で、被害面積は113ヘクタール、金額にして2億3,700万円に上ります。次に西洋なし(ラ・フランス)の1,300万円、ぶどうの300万円と続きますが、品種毎の被害面積の割合で比較すると、ぶどうが40%でトップ、次に西洋なし、りんごが続きます。これら折損など樹体への被害に加え、ぶどう棚やハウスの倒

壊など施設への被害を合わせると、被害総額は約2億6,800万円となります。

中でも、被害金額の大きいりんごの樹体被害を地区別に見てみると、和合の32ヘクタール、金額にして5,760万円が最もひどく、次に送橋・古楨、中沢・玉ノ井と続きますが、地区毎の被害面積の割合で比較すると、今平や大暮山、大沼が60%と、栽培面積の半分以上に被害を受けたこととなります。また、地区によつては、局地的に被害が大きかったところもあります。このような状況を踏まえ、町としては、平成17年度に融雪剤の購入費補助と農道除雪

費の補助を行い対応してききました。平成18年度には、枝折れした果樹の補植用苗木購入費と倒壊したハウスの復旧費について、県の補助事業が創設されるほか、町としてもこの補助事業に補助金をかさ上げして対応していきたいと考えています。これらの補助事業を有効に活用していただき、早めの現状復帰に努めていただきたいと思います。

【産業振興課】

お詫びと訂正

平成18年3月15日発行の広報あさひまち3月号3ページ(表1)参加状況の中に、次のような誤りがありました。世帯数の中にふれあい荘(四ノ沢)及び明鏡荘(大谷四)の人数を含めてしまったために、世帯数に対する集落座談会への参加者数の割合が実際よりも低くなってしまったものです。正しくは次のような数値になります。お詫びして訂正いたします。

	【訂正前】		【訂正後】
四ノ沢	8.2%	→	20.4%
中部計	39.1%	→	41.7%
大谷四	17.7%	→	91.7%
北部計	61.4%	→	72.5%
合計	49.6%	→	53.3%



雪の重みで幹部から割れたりんごの樹



平成18年(2006年)
■3月1日～3月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
能中	海野花歩	女	俊一・久美子
西船渡	若月保歩	女	宏也・美幸



おしあわせに

安孫子 (寒河江)		佐藤菜美 (沼向)
長岡 (西町)		阿部京子 (尾花沢市)
海野幹雄 (助ノ巻)		菅野香奈 (寒河江市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
大隅	鈴木源江	敏明
常盤	佐竹きくよ	藤雄
松原	安藤ミヤ	新平
宇津野	渡邊ふふ	惣七
元町	浅井秋男	周作
大谷一	濱田しけの	秀明
太郎二	長岡源一	秀一
大谷二	櫻井江太郎	留吉

人口と世帯数

- 平成18年3月31日現在
- 人口 8,711人(減38人)
- 男 4,316人(減18人)
- 女 4,395人(減20人)
- 世帯数 2,556戸(±0)
- ()内 前月比

きょうの健康 あしたの健康

4月1日!!

朝日町地域包括支援センターがスタートします

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を送るためには、介護サービスをはじめ、福祉、医療、権利擁護など様々なサービスが、包括的、継続的に提供される必要があります。そこで、高齢者の生活を支える総合機関として、新しく「地域包括支援センター」が役場健康福祉課内に設置されました。

専門職が連携して対応します



保健師



主任ケアマネジャー



社会福祉士

地域包括支援センターの主な業務内容

◎介護予防マネジメント

介護予防対象者の選定や介護予防プランの策定、評価などを行います。

◎地域支援の総合相談

介護保険だけでなく、様々な制度や地域資源との連携によって、制度の横断的な支援を行います。

◎権利擁護、虐待の早期発見・予防

高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業を拠点として、成年後見制度の活用促進や虐待の早期発見・防止を進めます。

◎ケアマネジメント支援

包括的・継続的なケアマネジメントが行われるよう、地域のケアマネジャーの後方支援を行います。

何か困ったこと、相談したいことがあったら、まずは「地域包括支援センター」へ連絡してください。

【問】 地域包括支援センター（役場健康福祉課内）

☎67-2116

くぬぎだいら たなだ 榎平の棚田PRキャラクター

朝日町長賞



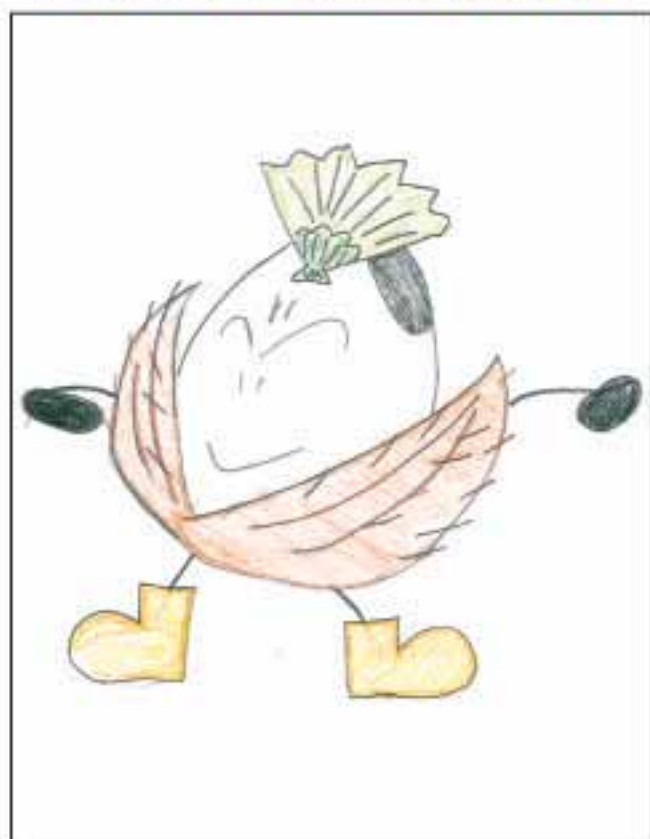
榎平の棚田は、わたしにとって大切な宝もの。

そこで収穫される棚田米を食べると元気が出るように、スーパーマンみたいに描いてみました。

西五百川小6年

阿部美咲さん(太郎三)

榎平棚田保全推進委員長賞



榎平の棚田は、わたしにとって大切な宝もの。

額にある農は、上空から見た棚田の形をイメージしたものの。可愛く描いてみました。

西五百川小6年

阿部結希さん(ハツ沼)

登校の声

香る道ばた ふきのとう
(はやけん)

中が歓喜に包まれた日です。△しかし、国民があんなにも一つになれることが、これまでもあったでしょうか。「日本人で良かった」と心から歓声を上げる若者たち。△今後、行財政改革が進められるこの町にとっても、同じことが言えるはず。改革に向けて町民が「一丸となること。そして最終的な町民の声は「朝日町民で良かった！」。

春夏秋冬

編集後記

△あんなに積もった雪はどこへやら。ふきのとうの天ぷらが味わえる季節になった。今となっては、昨年暮れの集中豪雪と除雪機の音が、なんとなく懐かしく思えます。△三月二十日。日本全国の子どもたちからお年寄りまでもが、画面に釘付けになったこの日。王監督率いる日本が、真の世界一を決める野球の国別対抗戦「ワールドベースボールクラシック(WBC)」の決勝で、アマチュア最強と言われるキューバを破り、見事初代王者に輝いた瞬間。日本



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。